

件数増加で他人事ではない？ 「監査人の交代」の最新動向と 実務上の留意事項

この記事のエッセンス

- 監査人を交代する件数がここ数年、高水準で推移している。特にこの1年の監査人の交代の特徴としては、①交代の件数が高水準のままである、②大手監査法人からの交代の件数も高水準のままである、③監査人の交代の理由を開示することになった、という点があげられる。
- 監査人の交代の手続には、①会社法で必要とされる手続、②交代に関する開示、③臨時報告書の提出、④引継業務に関する守秘義務の確認、がある。
- 実際に監査人の交代を進める際には、特に大手監査法人へ交代する場合と中小監査法人へ交代する場合との違いに留意し、事前によく検討するよう努める必要がある。
- 直近に公表された「監査法人のローテーション制度に関する調査報告(第二次報告)」は、今後の監査人の交代の議論にも影響を与えることが予想される。

嶋矢公認会計士事務所
公認会計士

嶋矢 剛

はじめに

この2、3年、上場会社の監査人の交代のニュースを見聞きすること
が珍しくなくなっている。なかには、
各業種でのリーディングカンパニー
であるような大企業が大手監査法人
を交代するというような事例も増え
ており、これまで監査人の交代を経
験していない企業でも他人事ではな
いと感じておられるかもしれない。

そこで本稿では、まず監査人の交
代に関する最近の状況・傾向を概観
し、次に実際に監査人を交代する場
合のスケジュールや記載例を紹介
し、最後に監査人を交代する際の
実務上の留意事項について解説する。

監査人を交代する場合には、日頃、
監査対応をしている経理担当者が中
心になって議論する場合が少なく
ないため、そのような方に参考となれ
ば幸いである。

なお、以下で監査人を分類する際
には、次の監査法人の分類を使用す
る。

・大手監査法人：有限責任 あずさ監
査法人、有限責任監査法人トーマ
ツ、EY新日本有限責任監査法人お

よびPWCあらた有限責任監査法
人の4法人を指す。以下では「大手」
と略記する場合もある。

・準大手監査法人：大手監査法人に
準ずる規模の監査法人。仰星監査法
人、三優監査法人、太陽有限責任監
査法人、東陽監査法人およびPWC
京都監査法人の5法人を指す。以下
では「準大手」と略記する場合もあ
る。

・中小監査法人：大手監査法人およ
び準大手監査法人以外の監査法人
を指す。以下では「中小」と略記す
る場合もある。

また、以下では監査人の交代のパ
ターンを「大手→準大手」（＝大手監
査法人から準大手監査法人への交
代）のように略記する場合がある。
また、交代前の監査人や交代後の監
査人を指す用語は出典によって異
なっているが、本稿では各々の文脈
で使用されている用語をそのまま使
用している。

最近の監査人の交代の 傾向

以下では、公認会計士・監査審査
会が7月30日に公表した「令和元年